校長室だより

6月

2026（令和8）年6月2日
大阪市立天王寺小学校
校 長　藤 原 和 彦

地 域 の 学 校

1学期の一番大きな学校行事である運動会が無事に終わりました。と言っても、実際には、この原稿を書いている時には練習の真っただ中で、正確に言えば「終わったと思います」なのですが、期待を込めて、そう書いています。もし、事実と違っていましたらごめんなさい。

運動会に向けて精いっぱい頑張った子どもたちにとっては、これからしばらくの間、運動会ロスになってしまうかもしれませんね。逆に、やっと終わったと思う運動会嫌いの子もいるでしょう。しかし、あと2週間ほどでプール水泳が始まり、1か月半後には1学期が終わって夏休みに入ります。まだまだ忙しい毎日が続くので、ちょっと一息ついたら、ギアをチェンジして次の目標に向けて動き出してほしいと思います。

閑話休題（かんわきゅうだい）、先日、天王寺連合地域活動協議会の会議にお邪魔しました。略して「地活協（ちかつきょう）」と言われているのを耳にしたことがある方も多いと思います。地域活動協議会は、平成24年に大阪市で始まった新しい住民自治の枠組みです。概（おおむ）ね小学校区を一つの単位として、これまで地域自治を担ってきた連合振興町会や社会福祉協議会だけでなく、街づくりに関わる様々な団体が参画して、民主的で開かれた運営と会計の透明性を保ちながら、防犯・防災、子ども・青少年、福祉などのさまざまな分野で活動している組織です。堅苦（かたくる）しい説明になってしまってすみません。大阪市のホームページから抜粋（ばっすい）しました。

地活協には、本校の PTA も構成団体として参加しています。また、地活協は、天王寺小学校の子どもたちにとっても、秋の地域運動会や、冬のもちつき大会、防災イベントなどを実施していただいている身近な地域の組織です。2年前には創立150周年の記念事業でも何かとお世話になりました。そうしたことから、年に1度は会議にお伺（うかが）いして、子どもたちの様子を地域の皆さんにお伝えしています。

地域活動協議会の活動の対象は、天王寺の地域にお住まいの方全員ですが、中心となって活動を支えているのは、天王寺連合地域振興町会（いわゆる町会）の皆さんです。地活協は、地域の活性化のために、町会が中心となって他の団体を巻き込んで作られた新しい枠組みなので、町会が盛り上がることが、地域の活性化につながっていくことになります。しかし、近年は、町会に加入する人が少なくなっていると聞いています。このような状況を受けて、大阪市でも町会加入の促進（そくしん）対策をすすめていますし、先の会議でも、町会の存続と発展のために努力されている町会長さんのお話をお聞きしました。

そうした中で、学校は地域に対して何ができるのだろうと考えることがしばしばあります。また、そもそも学校と地域とは、どのような関係にあればよいのでしょうか。

まだ学級担任をしていた頃、私の教育は、学校の中だけで完結していました。もちろん受け持つ学年によっては地域の学習はしていましたし、学校に地域の皆さんをお招きすることもありました。また、私自身が地域行事に参加することもありました。しかし、目線は自分の学級の子どもたちに向かっていたので、地域と学校との関係なんてじっくり考えたことはありませんでした。

そんな私の認識が大きく変わったのは、教頭として初めて赴任(ふにん)した学校で、地域の皆さんと直接関わるようになった時です。教職員はいつか転勤するし、子どもも卒業していきます。しかし、地域にとって学校は、ずっとそこにあり続ける存在であることを実感したのです。そしてそれ以来、学校は子どもたちのためだけでなく、地域のためにもあるのだと思うようになりました。その後も、歴任したどの学校でも、地域の皆さんが学校をとても大切に思い、応援してくださっていることを感じ続けてきました。それは、天王寺小学校でも同じです。

そうした地域に対して、学校としてもご恩を返したいと思うのですが、実際にはできることに限りがあるので、なかなか力になれていないような気がします。さらに、近年は教職員の働き方改革で、地域行事に学校の先生が出にくくなっているという現状もあります。

ですが、地域が学校でイベントを行う際には、これからもできる限り協力させていただくつもりです。また、3年生の社会科で地域自治について学習する際に、大阪市が作っている「町会ってなあに?」という教材を使って理解を深めることで、将来の地域人材をはぐくむことにもつなげていきたいとも考えています。

天王寺小学校では、ここ数年児童数が増えていますが、子どもが増えるということは、それだけ多くの方が、この天王寺地域に新たに住まわれているということにもなります。ですから、これからも学校で行われる地域の活動などを通じて、学校が、地域と新しい住民とをつなぐ架(か)け橋のような存在になればいいなと思っています。

楽しい学校生活を送るためのアンケート

天王寺小学校では、学校長専決(せんけつ)の予算等を使って、全校の児童に Q-U(Questionnaire-Utilities)という質問紙調査を行っています。これは、毎年秋にしている学校アンケートと違い、結果を全国の数万人規模のデータベースと比較することで、子どもの学校生活や学習に対する意欲と学級集団の状態を客観的に把握し、児童への指導や学級経営に生かすというねらいがあります。また、6月と11月の年に2回実施することで、取り組みの効果の推移も測っています。ですから、Q-U は、言わば学級の健康診断のようなものと言えます。

結果は基本的に学級担任の資料として使いますが、4~6年生は、大阪市教育委員会の事業を活用して児童にフィードバックできるタイプのものを使用しています。これからも、こうした客観的な指標を活用しながら、子どもたちが安心して学校生活を送れるようにしていきたいと考えています。